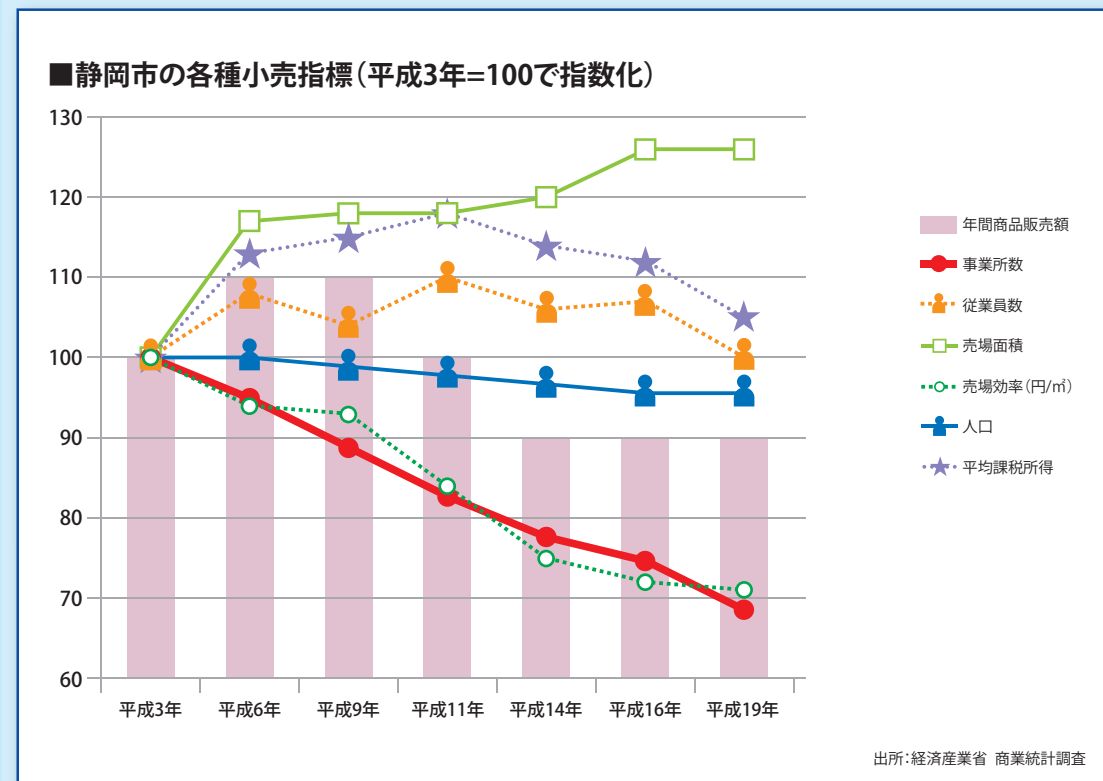


I

静岡市の商業の現状・課題

商業活動は民間企業・事業者が経済活動・競争原理に基づき行われていると考えられています。では、このままで住みやすいまち、住みたいと憧れるまちができるのでしょうか。実際の数字を基に、実態を探ります。



課題

近年の動向をみると、年間商品販売額の推移と連動しているのが個人所得の推移です。

次に商業関係の数字の推移をみると、年間商品販売額やお店の数、従業員の数などの項目が年々減少している中で、商業の売場面積だけが増加しています。これは、お店の大型化が進み小さいお店が減っていると推測されます。地域の商業環境が大きく変わってきています。

地域毎にみると、中心市街地は静岡県中部の100万人を超える都市圏を商圏とする情報、文化の発信拠点ですが、徐々に商圏の減少が見られます。また、市街地部を見ると地域を支えていた商店街の衰退傾向が見られます。

今後人口も減少し、個人所得も伸び悩みが予測される中、どのような商業環境ができていれば快適で住みやすい静岡のまちができるのでしょうか。

II

理念・目標・戦略

このような静岡市の商業環境の中で、今後も日々の買物を楽しむことができ、安心、安全な買物が出来るよう、将来ののぞましい商業のすがたを示し、その実現に向かって取り組むための方針を定めました。

理念

- ◎商業の質の向上、市民生活の向上、地域経済の活性化、市の魅力向上
- ◎地域特性に応じた魅力あるまちづくりに相応しい商業環境の形成
- ◎事業者、商業団体、関係団体、行政の役割分担・協働

【商業の役割】

消費機会提供のみならず、文化、交流活動などライフスタイルの多様性を培い、まちの活力を増進する創造的産業として公共的役割も担う。

目標

市民に寄り添い、地域を豊かにする商業の実現
文化、交流を創造し、都市力を高める商業の実現

戦略

- ◆地域商業の充実と都心商業の強化
- ◆個店、商店街、まちの維持・成長促進

■個店、商店街、まち × 都心・地域の考え方

